

2024年（令和6年）科学技術研究調査結果

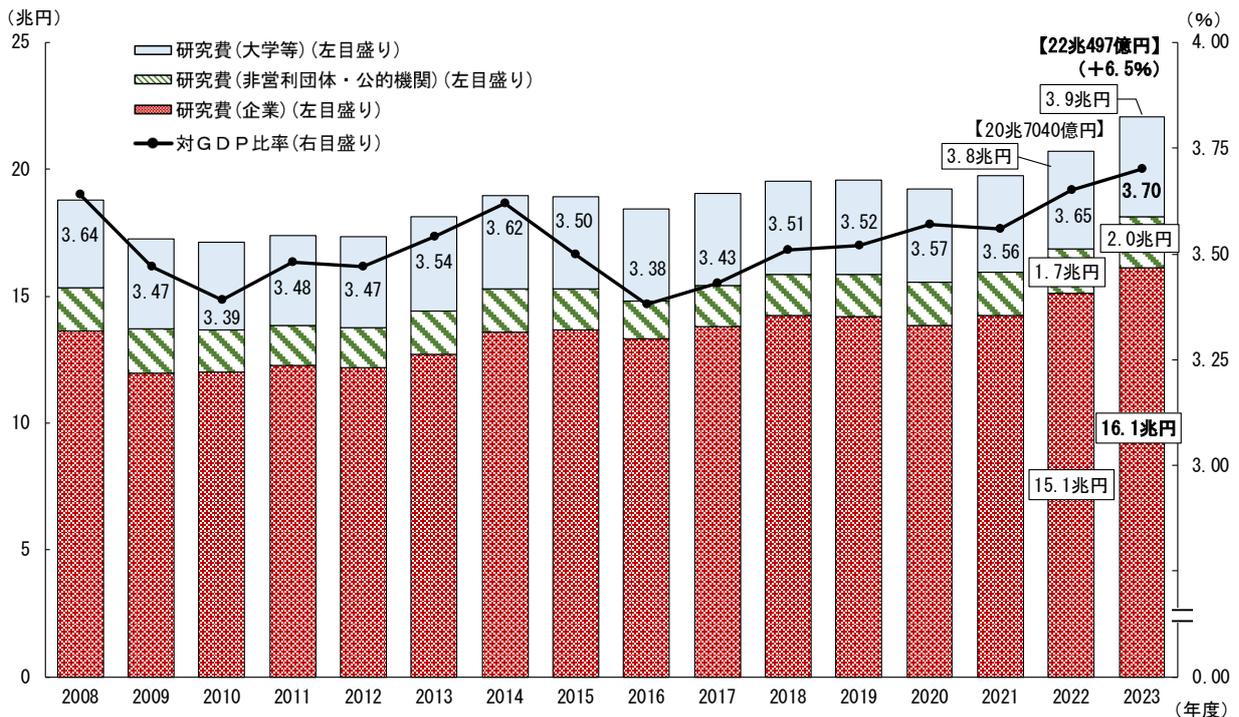
総務省統計局では、我が国における科学技術に関する研究活動の状態を調査し、科学技術振興に必要な基礎資料を得ることを目的として、科学技術研究調査を毎年実施しています。

この度、本年6月1日に実施した調査の結果を取りまとめましたので、公表します。

科学技術研究費の動向

- 2023年度の科学技術研究費の総額は、22兆497億円（対前年度比6.5%増）で、3年連続で増加し、過去最高
- 国内総生産（GDP）に対する研究費の比率は、3.70%と前年度に比べ0.05ポイント上昇
- 研究費を研究主体別にみると、企業の研究費が16兆1199億円（対前年度比6.5%増）と最も多く、大学等が3兆9365億円（同2.5%増）、非営利団体・公的機関が1兆9932億円（同15.1%増）
- 企業の研究費を産業別にみると、「輸送用機械器具製造業」が4兆4361億円（対前年度比10.6%増）と最も多く、次いで、「医薬品製造業」が1兆5386億円（同7.6%増）、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」が1兆3706億円（同11.3%増）などとなっている。

図1 研究費及び対GDP比率の推移



注1) 【】は研究費総額、()は研究費総額の前年度比

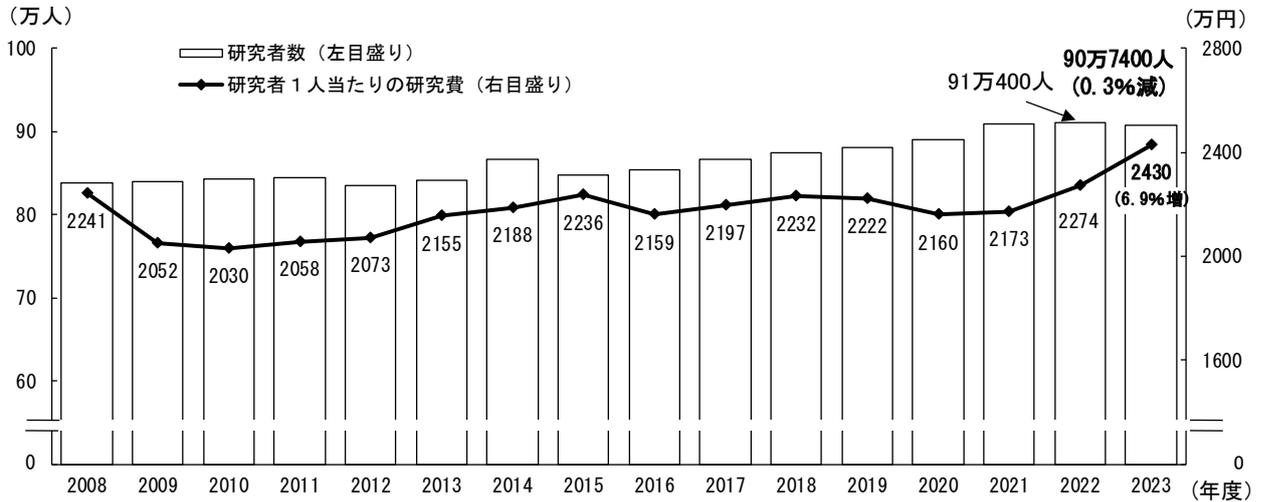
注2) 対GDP比率は、内閣府「2023年度（令和5年度）国民経済計算年次推計」（2024年12月9日公表）を用いて算出

注3) 単位未満を含む数値で計算を行っているため、表章数値による計算とは一致しない場合がある。以下同様

研究者数の動向

- 2024年3月31日現在の研究者数は、90万7400人(対前年度比0.3%減)で、8年ぶりに減少
- 研究者1人当たりの研究費は、2430万円(対前年度比6.9%増)で、3年連続の増加
- 女性研究者数(実数)は、18万2800人(対前年度比0.3%減)で、43年ぶりに減少したものの、研究者全体に占める割合は18.5%(前年度に比べ0.2ポイント上昇)と過去最高

図2-1 研究者数及び研究者一人当たりの研究費の推移



注1) 「企業」及び「非営利団体・公的機関」の研究者については、実際に研究関係業務に従事した割合であん分して算出した人数とし、「大学等」の研究者は、実数を計上

注2) 研究者数は各年度末現在の値

注3) 研究者1人当たりの研究費は、各年度末現在の研究者数(注1のとおり計上した人数)で、当該年度の研究費を除いた値

図2-2 女性研究者数(実数)及び女性の割合の推移



注1) 研究関係業務に従事した割合であん分しない実数で計算

注2) 女性研究者数(実数)は各年度末現在の値

<問合せ先>



総務省統計局

統計調査部経済統計課科学技術研究調査係

担当：吉田課長補佐、丸井係長

電話：03(5273)1169(直通)

e-mail：e-kagaku@soumu.go.jp